



あさひヶ丘

医療法人積仁会 旭ヶ丘病院広報誌

2016年
冬号
Vol.7

〒350-1211 埼玉県日高市大字森戸新田99-1 TEL 042-989-1121 FAX 042-989-6621

「表紙写真は旭ヶ丘病院の庭にある、スイセン」



ホームページでは、
広報誌あさひヶ丘のバックナンバーを
スマホからでもご覧いただけます。
<http://sekijinkai.or.jp/>

2016年冬号・目次

新年のご挨拶	2・3P
新任医師の紹介[整形外科 岩田豊英医師]	4P
部門紹介[病棟の紹介・施設の紹介]	4・5P
あさひヶ丘ニュース	
【訪問看護ステーション・敬老会・ハロウィンパーティー】	6P
知って得するシリーズ	
【食の便り、お薬Q&A、あさひちゃんの相談日誌】	7P
肺炎球菌ワクチン接種はお済みですか？	8P
歯科閉鎖のお知らせ	8P
リハビリテーション科コラム「転倒予防体操」	8P
予防接種のご案内	8P

介護療養型老人保健施設

あさひヶ丘

訪問看護サービス

あさひヶ丘訪問看護ステーション

指定居宅介護支援事業所

あさひヶ丘ケアプランセンター

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
年頭にあたり、御挨拶を申し上げます。
私が平成25年に、当旭ヶ丘病院に参りまして2年が経過し、3回目の正月を迎えました。当初、「地域の皆様の健康福利の向上」の為に掲げた1番目の目標である「救急患者さんの可能な限りの受入」に関しては、近隣救急隊との交流により順調に受入数の増加を果たしています。2番目の目標である「外科系手術の再開」に関しては、既に整形外科手術は再開できましたが外科手術は未再開であり、引き続き優秀・真摯な外科医を募集している状況です。
病院は単なるコンビニ施設であってはならないと思いますが、逆に迅速性はコンビニのように、それに加えて安心して医療を受けられる施設にする事が「地域の皆様」に対する病院の使命と考えております。
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。
平成28年1月

医療法人積仁会 旭ヶ丘病院
理事長・院長 高木 進

新年あけましておめでとうございます。
年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。
私は旭ヶ丘病院に勤務し、3年が経過しました。平成25年度から地域に貢献することを看護部理念とし、毎年目標を設定しています。昨年は日高市長とのふれあいトークに申し込みを行い、日高市長と日高市の医療・福祉・子育てなどの意見交換をすることができました。その結果、一個人や自治体でできることには限りがあると感じました。今後、超高齢化社会をむかえるにあたり、日高市も医療・福祉について自治体と市民が協力し合い地域を支えて行く必要があるのではないのでしょうか。私自身も積極的に外に向かって働きかける努力をして参りたいと存じます。今年も気をゆるめることなく、地域に貢献できるよう看護部一丸となって頑張っております。本年もどうぞよろしく願いいたします。

平成28年1月
医療法人積仁会 旭ヶ丘病院
看護部長 川野奈緒美

介護療養型老人保健施設

あさひヶ丘

新年あけましておめでとうございます。

介護療養型老人健康施設「あさひヶ丘」は平成21年4月に旭ヶ丘病院の病床の一部を転換して「老健施設」として開設いたしました。

「老健施設」は病院と家庭、あるいは病院と介護専門施設の間を橋渡しする役目を持った施設です。病院において活動期の病気の治療が済んで、状態が安定した方が入所され、リハビリを行い、家庭へ復帰されることを目標としています。このため、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、作業療法士や理学療法士等によるリハビリ、また、栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供しております。一方、様々な重い病気や障害を持った方も入所されます。従来の「老健施設」では受け入れが困難であった、医療行為の必要な方を受け入れることができ、終末期の看取りにも対応しております。

このように幅広い入所者がおられます。ひとりひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを、医師をはじめとする専門スタッフが行い、夜間でも安心できる体制を整えています。今年も例年と同様、入所される方の活動度が増し、より「生活の質」が向上することを目指してまいります。

平成28年1月

介護療養型老人保健施設「あさひヶ丘」
事務課長 池田清子

訪問看護サービス

あさひヶ丘訪問看護ステーション

新年あけましておめでとうございます。

超高齢社会に向けて、地域包括ケアシステムの構築が急務となっている今、どんな健康問題を抱えていても、誰もが住み慣れた地域や自宅で、大切な人と最期まで過ごすことが出来るよう支援していくことが、医療と介護の両方を担う事ができる訪問看護の大きな役割だと考えています。

あさひヶ丘訪問看護ステーションは現在、6名の看護師と2名の理学療法士が患者様のご自宅に伺い、必要な看護やリハビリを提供し、24時間365日、緊急時に対応できる体制を整えています。そして、一人ひとりの思いに寄り添った、心あるケアを行い、地域のニーズに応えられるよう、スタッフ一同、日々自己研鑽し、ケアの質の向上にも努めています。健康問題などでお困りの方は、まずは私たちにお気軽にご相談ください。

平成28年1月

あさひヶ丘訪問看護ステーション
管理者 訪問看護認定看護師 飯島若子

指定居宅介護支援事業所

あさひヶ丘ケアプランセンター

新年あけましておめでとうございます。

あさひヶ丘ケアプランセンターは平成21年4月に開設し、今年で8年目を迎えることになります。介護保険制度も17年目を迎えます。全国同一基準で、多くの高齢者が利用しています。幾度かの法改正があり、平成27年8月からは一定以上所得者の2割負担が開始されました。医療・介護・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム、地域の自主性や主体性に基つき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要とされる総合事業も開始されます。

今後も住み慣れた地域、ご自宅で安全に安心して生活が出来るように支援してまいります。

本年も宜しくお願い致します。

平成28年1月

あさひヶ丘ケアプランセンター
管理者 小河原美保子



新任医師の紹介



整形外科 岩田豊英医師

整形外科は手、足、背骨などの四肢や脊椎を構成する骨や筋肉に関係する不調を診断して治療するところです。

整形外科で診察させていただく分野は骨折、脱臼、打撲、捻挫、傷などのいわゆる「けが(外傷)」だけと思われがちですがそれだけではありません。

「けが」をした覚えがないのに関節や首、腰が痛んだり、腫れたりする場合も診察させていただいております。さらに、首や腰の不調に関連して、腕から手にかけて、または、太ももからすねや足にかけて、重だるさやしびれを感じる症状が出現する、いわゆる「神経痛」も診察範囲です。

患者様の中には、『「けが」をしたわけではないからそのうち治るだろう』と、我慢強さのゆえに、症状がこじれてしまう方もいらっしゃるようです。

早期診断・早期治療は、身体に不調がある場合には大切なことだと思います。お身体の痛みやしびれで気になることがございましたら気軽にご相談に来ていただければ幸いです。

骨粗しょう症が気になる方も当院で検査できます。診察時に申し出て頂ければ、翌週には検査の結果をご説明できると思います。



東館4階病棟

病棟師長 岡田 そのみ

新年あけましておめでとうございます。

東館4階では救急・緊急入院年間200例以上の実績があります。このため、病棟目標である「看護の質の向上」に向け、院内内外の研修参加に力を入れています。

NST*研修1名、BLS**講習に8名、「一般病棟の重症度、医療・看護必要度評価者」の院内指導者研修に2名、医療的ケア教育講習に4名、フットケア研修に1名、褥瘡研修に2名の看護師が参加し、資格・終了証を取得するなど、病棟職員一人一人が積極的に取り組み、自己研鑽に努めています。

また、日高高校・地区運動会の救護活動に看護師が参加したり、周辺中学より中学生職場体験や看護学校からは実習生の随時受け入れを行い、地域に関与させていただいています。

地域に密着した旭ヶ丘病院として、今年度も頑張っていきたいと思います。

*NST・・・Nutrition Support Team
栄養サポートチーム

**BLS・・・Basic Life Support
一次救命処置

本館3階病棟

病棟師長 八畝 美香子

本館3階病棟は50床の療養病棟です。

病棟スタッフは看護職員17名、介護福祉士1名、補助者11名、クラーク1名で日々の看護に携わっています。

入院患者様はベッド上臥床で過ごされている方が多く、ADL(日常生活動作)介助が必要な方が病棟の76%を占めています。入院患者様の平均年齢は83.0歳です。高齢者は皮膚が薄いのが特徴で、多くは乾燥傾向にあります。このため、皮膚剥離や褥瘡発生リスクが高い状況であります。

昨年度は本館3階病棟の取り組みとして、『皮膚剥離発生ゼロ!』を目標に活動を行いました。

・保湿(皮膚乾燥部分に保湿軟膏の塗布)
・飲用可能な方には水分補給を促す
・入院セットのスウェット上下と靴下の着用(皮膚保護の徹底)
・皮膚剥離リスクが高い患者様の移動方法の統一など
皮膚剥離の予防として効果的取り組みが行えました。

本年度のスタートとして、今後も患者様が安全・安楽を第一に、入院生活お送りいただけるように、スタッフ一丸となり、活動実践したいと思います。

西館3階病棟

病棟師長 岩崎 理沙

新年明けましておめでとうございます。

旭ヶ丘病院には50床と40床の2つの療養病棟があります。

一般病棟での急性期の治療を終え、状態が安定してきており、もう少し継続的な治療・リハビリテーション・療養が必要な患者様や、退院に向けての生活環境の調整をしている患者様などが私の管理する西館3階病棟には入院しています。

平成27年5月に療養病棟担当医である増井良臣医師が着任しました。出勤日には各患者様を訪室し、回診時以外にも、患者様とのコミュニケーションをとっています。医師との距離も近くなり、患者様は一層安心して療養生活を送れるようになりました。

患者様の平均年齢は83歳と高齢で、認知症の患者様も多く入院されています。療養生活を安心して、また、安全に送れるように、病棟スタッフだけではなく、リハビリテーション科や医療福祉相談員とも連携し、定期的なカンファレンスを実施しています。

本年は、療養生活がより楽しく過ごせるよう、レクリエーションにも力を入れていこうと思っています。

老健本館

介護課長 井賀友美

2階の東館～本館を合わせた60床を「老健本館」と呼んでいます。

現在介護福祉士資格保有者が19名、その他の介護士も介護福祉士の資格を取得するために日々勉強しています。

本館に入所される方は、生活介護を中心としているため、1人1人に合った個別の身体介護・支援をさせて頂いています。

「あさひヶ丘」は介護療養型老人保健施設のため、医療や医療的処置が必要な場合にも医師・看護師による日常的な医療処置(24時間体制)への対応をしており、旭ヶ丘病院とも協力し、円滑な連携を図っています。

介護者の諸事情に応じて、在宅の方でも、短期入所のシステムを利用しているただき、介護者の負担軽減が図れるよう対応しています。

老健西館

看護主任 追田 真由美

「介護療養型老人保健施設あさひヶ丘」は、旭ヶ丘病院の建物の2階に介護施設が存在しているめずらしいつくりをしています。病院での治療を終えた患者様がご自宅や次の施設へ行かれるまでの準備段階として、ご利用いただいております。

入所者様は施設で医師による医療、看護師による看護や、介護士による介護、理学療法士、作業療法士によるリハビリテーションを受けることができます。医療的ケアは具体的には胃ろう・経鼻からの経管栄養、膀胱ろう、尿道バルーンカテーテル挿入の管理、喀痰吸引、褥瘡処置などとなります。

必要に応じて同じ建物内で外来受診や入院をして、治療を受けることが可能です。

西館2階は静かな環境によって、穏やかな生活が送れるフロアを目指し、人員も看護師を多く配置しています。

入所者の皆様には穏やかで温かな日々を、ご家族様と過ごしていただけるよう、スタッフは日頃よりカンファレンスを行い、ケアにあたらせていただいております。

あさひヶ丘訪問看護ステーション



訪問看護・24時間って何？

当ステーションは、24時間対応体制をとっています。夜間や休日に体調の変化があっても、24時間電話で相談を受ける事が出来、必要なら緊急時に訪問も可能です。在宅看護・介護でお困りのことはありませんか？



私たちが訪問します♪

*健康問題や介護でお困りの方は
お気軽にお問い合わせください！
TEL(042)989-7180



敬老会[老健]

今年の敬老会は、ものまね芸人さんの公演を行いました。きらびやかな衣装を着けた芸人さんが、小林幸子・美空ひばりといった大御所のものまねを次々披露してくれました。利用者さんもどんどん引き込まれていました。10月には近隣の高校生が和太鼓を叩いてくれました。孫のような年頃の学生さんの熱演に、「感動した」「涙が出た」の声が聞かれました。



保育室では、10月29日に恒例の「ハロウィンパーティー」を行いました。ハロウィンパーティーは、保育室の行事の中でも子供たちが楽しみにしているものの一つです。「トリック・オア・トリート」とかわいい声を響かせ病院内を回り、たくさんのお菓子を頂きました。皆さんの心のこもった温かいお気持ち、本当にありがとうございました。子どもたちもたくさんの方々とふれあい、また一つ良い思い出が増えました。

ハロウィンパーティー



寒い冬に不足しがちな栄養素

食の便り

○マグネシウム

寒さで硬直した筋肉・血管を元に戻すのに使われるため、冬に不足しがちです。マグネシウム不足は心疾患につながりやすく、逆に効率よく摂取すると心臓の筋肉の動きをスムーズにして突然死のリスクを軽減させてくれます。油揚げ、納豆、ひじき、海苔などに多く含まれます。



○葉酸

葉酸は赤血球の材料の一部です。寒い時期、体内で熱を産生するのに必要な酸素を体中に届けるのに大量に使われるため、冬に不足しがちです。不足すると貧血を起こしやすくなり、また、高血圧や動脈硬化のリスクが高まります。ほうれん草、小松菜、春菊、レバーなどに多く含まれます。

「薬のQ&A」シリーズ⑦～貼り薬とその効果～

Q7 貼り薬は、本当に効くのですか…？ハッカがスーッとするだけではないのですか…？

A スーッとするのは、主にサリチル酸メチルの作用やハッカ油その他の作用によるものです。

これらは、皮膚の温度を3～4.5℃も低下させます。最近では、貼り薬に消炎鎮痛剤そのものが配合されているものもあります。一般に冷シップとは、皮膚の血管が収縮して新陳代謝が妨

げられ、炎症を鎮め痛みを軽くします。一方、トウガラシエキ스가配合された貼布剤は、その貼付によって皮膚の温度が約3℃上昇するといいます。つまり、温感刺激によって皮膚の血管は拡張して炎症産物の吸収を促進し、炎症や痛みを軽くします。これが温シップです。

「歩けなくなりました。身体障害者手帳は取得できますか？」

あさひちゃんの相談日誌 No.7

相談者A:母は85歳ですが、最近食べられなくなり、歩くこともできなくなりました。身体障害者手帳を申請すれば、いろいろ助成が受けられると隣人より聞きましたが、本当ですか？

あさひ:身体障害者手帳は歩けなくなったからといって、誰でも取れるわけではありません。まずは主治医に相談してみましょう。病状や状態によって基準がありますので、主治医はその基準を基に判断します。ただし、診断書の記載ができるのは都道府県が指定した指定医のみで決定は都道府県が行います。障害等級は1～7級まであり、等級によって利用できる福祉制度が異なります。

身体障害者手帳で利用できる主な福祉制度

医療費の助成（都道府県によって内容は異なります）、自立支援医療の給付、税金の控除・減免、心身障害者福祉手当金、各種交通運賃の割引、障害者総合支援施策の利用、駐車禁止除外の交付などがあります。

なお、埼玉県の場合、平成27年1月1日以降に65歳以上で新たに障害者手帳の交付を受けた方は医療費助成の対象にはなりません。

詳しくお知りになりたい方は、こちらにご相談ください。
旭ヶ丘病院 医療福祉相談室ソーシャルワーカー TEL:042-989-8624(直通)

肺炎球菌ワクチン接種はお済みですか？



健康管理部からのお知らせ

肺炎球菌ワクチンは一度だけ補助を受けることができ、対象年齢は、年度内に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方です。ワクチンの有効期間が長いので、接種期間は一年を通していつでも可能となっております。

当院では予約制となっておりますので、下記までお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせ先
西館1階 健康管理部
042-989-0650(直通)

歯科閉鎖のお知らせ

平成27年12月12日(土) をもちまして、歯科診療を閉鎖致しました。

長年にわたり、ご支援を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

患者様にはご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解の程よろしくお願い致します。

リハビリテーション科コラム

[転倒予防体操]

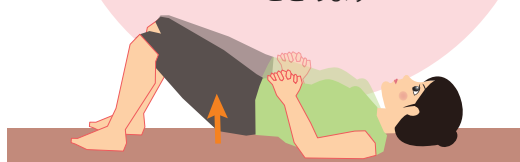
65歳以上の高齢者における転倒の年間発生率は、在宅高齢者では約20%といわれています。転倒は加齢とともに多くなる現象ですが、骨折から寝たきりになり高齢者を要介護状態にさせる原因にもなります。そのためにも、転倒予防が重要となります。転倒予防のためにはお尻や足首周囲の筋力を鍛えましょう。いろいろな姿勢で出来るので自分にあったやりやすい方法で行なってください。



四つ這いから反対の手足を上げて5秒とめる

<お尻の筋力強化>

お尻を持ち上げる 腰に負担がかかるので、最初は、軽く浮かせる程度にとどめます



※痛みや疾患に応じ、無理の無い範囲で行って下さい。

<足首周囲の筋力強化>

肩の水平を保ったまま片脚を浮かせる

肩は水平のままイスに近いほうの脚を10センチほど浮かせ、息をはきながらその姿勢を5~6秒間保ちます



踵を上げる

そのまま踵を上げて、5~6秒間その姿勢を維持します

片脚で行うとさらに負荷の高い強化法になります



【予防接種に関するお知らせ】

当院では、予防接種は完全予約制(インフルエンザ予防接種を除く)となっています。予約のできる予防接種時間帯は

午前が9:30~11:00まで、午後が14:00~16:00までです。

(接種後の観察時間を考慮し、上記のとおりと致します。)

【予約方法】お電話(042-989-1121)にて、「予防接種の予約です。」と告げたくえ、担当者にお申し付け下さい。

【注意】

- ①予約に際し、特に小児科においては、接種年齢・他の予防接種を受けた場合の接種間隔等から、小児科医師の判断が必要な場合があり、お時間のかかる場合がございます。(直接、小児科医師にお電話を回す場合もございます。)
- ②医師の問診・診察等にて、接種不適と判断され、予約日(=接種日)当日に接種できない場合もありますので、御了承お願い致します。
- ③予約時間までに来院できなかった場合は、再予約とさせていただきます。(キャンセルされる場合は、お早目にご連絡下さい。)



救急指定・労災指定

医療法人積仁会

旭ヶ丘病院

<http://www.sekijinkai.or.jp/>

〒350-1211 埼玉県日高市大字森戸新田99-1
TEL 042-989-1121 FAX 042-989-6621

外来診療受付時間

平日8:00~11:30・13:00~16:30 土曜8:00~11:30

午前の診療は9時から 午後の診療は14時からとなります。

土曜日午後及び日曜日・祝日は休診